

令和 7 年 3 月 7 日
九州地方整備局長崎河川国道事務所
長 崎 県
長 崎 市

長崎駅前交通拠点に関する整備方針を策定しました

～交流のまち長崎の陸の玄関口『「交流」と「にぎわい」を生み出す新たな交通結節機能を形成』～

○長崎駅前においては、路線バス停留所が分散していることや駅前バスターミナル周辺のバリアフリー化といった、交通結節に関する多くの課題を解消するため、交通拠点整備の検討を行っているところです。

○交通拠点の整備にあたっては、交通・交流・防災などの機能の強化を図る必要があることから、国土交通省、長崎県及び長崎市は「長崎駅前交通拠点整備事業計画検討会」での議論を踏まえ、「長崎駅前交通拠点の整備方針」を取りまとめました。

○今後、本方針に基づき、民間事業者等の知見を広く取り入れながら、官民連携で事業計画等の具体化を進めてまいります。

■整備方針の概要

- 長崎駅前の交通結節機能の強化
- 長崎駅周辺の交通円滑化
- 回遊性の強化
- 防災機能の強化
- 官民連携による計画の具体化

■添付資料

- 長崎駅前交通拠点の整備方針

【問合せ先】：国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所

技術副所長 小辻 計画課長 山口 TEL：095-839-9211（代表）

長崎県 土木部 都市政策課

課長補佐 小泉 TEL：095-894-3035（直通）

長崎市 土木部 土木企画課

調査係長 大古 TEL：095-829-1415（直通）

長崎駅前交通拠点の整備方針

国土交通省
長 崎 県
長 崎 市

長崎駅を含む都心部周辺では、長崎市中心部の交通結節等検討会議において、令和２年７月に『長崎市中心部の交通結節機能強化の基本計画』が策定され、令和６年７月から長崎駅前交通拠点整備事業計画検討会において、計画の具体化を検討してきました。

このたび、国土交通省と長崎県、長崎市は、道路・公共交通の機能の強化、歩行者ネットワークの向上、公共交通の利便性向上を目的とし、交流のまち長崎の陸の玄関口『「交流」と「にぎわい」を生み出す新たな交通結節機能を形成』の実現に向け、次のとおり「長崎駅前交通拠点の整備方針」を取りまとめました。

１．長崎駅前の交通結節機能の強化

- ・中長距離交通と、バス、路面電車、タクシー等の多様な交通モード間の結節機能の強化を検討します。
- ・長崎駅や中長距離用バスターミナルと２次交通とのアクセス強化を検討します。
- ・観光客等にも分かり易い乗り継ぎ環境を検討します。
- ・乗り継ぎ利用者が快適に待つことができる待合空間を検討します。
- ・将来的な新モビリティ導入、MaaS や ICT 技術を活用した公共交通の利便性向上への対応を検討します。

２．長崎駅周辺の交通円滑化

- ・長崎駅周辺の交通混雑の緩和を目指し、バス停集約を検討すると共に、通行する自動車の走行性向上を目指し、バス停車空間を検討します。

３．回遊性の強化

- ・長崎を訪れる方々の回遊を促す拠点となる空間を検討します。
- ・駅周辺や周辺観光施設等の回遊性強化を目指し、「まち」と「駅側」を連携する歩行空間を検討します。
- ・天候に左右されないなど、誰もが移動しやすく、移動負担の少ない歩行空間を検討します。

４．防災機能の強化

- ・災害等により公共交通に支障が発生した場合の一時的な避難場所や帰宅困難者の受入空間を検討します。
- ・災害時の情報収集・発信等の機能を備える拠点を検討します。

５．官民連携による計画の具体化

- ・民間事業者等の知見を広く取り入れながら、官民連携による効率的・効果的な施設運営を検討します。

長崎駅前交通拠点の整備方針

ポテンシャル

- 豊富な観光資源(2つの世界遺産)
- 長崎駅周辺の開発
 - ・JR長崎駅ビル(商業施設)、出島メッセ長崎(交流拠点施設)
 - ・長崎スタジアムシティ(サッカースタジアム、アリーナ、商業施設)
- 公共交通の要衝
 - ・西九州新幹線開業、電停・路線バス停・中長距離バスターミナルの集積

課題

- 長崎駅とバスターミナル、電停、バス停が離れている
- 国道の道路幅員が広く、「まち」と「駅側」が離れている
- 移動経路のバリアフリー化が不十分
- 国道202号の走行性低下
- 来訪者等が避難する受け入れ先の強化

交流のまち長崎の陸の玄関口

『「交流」と「にぎわい」を生み出す新たな交通結節機能を形成』

①長崎駅前の交通結節機能の強化

- ・中長距離交通と、バス、路面電車、タクシー等の多様な交通モード間の結節機能の強化を検討する
- ・長崎駅や中長距離用バスターミナルと2次交通とのアクセス強化を検討する
- ・観光客等にも分かり易い乗り継ぎ環境を検討する
- ・乗り継ぎ利用者が快適に待つことができる待合空間を検討する
- ・将来的な新モビリティ導入、MaaSやICT技術を活用した公共交通の利便性向上への対応を検討する

②長崎駅周辺の交通円滑化

- ・長崎駅周辺の交通混雑の緩和を目指し、バス停集約を検討すると共に、通行する自動車の走行性向上を目指し、バス停車空間を検討する

③回遊性の強化

- ・長崎を訪れる方々の回遊を促す拠点となる空間を検討する
- ・駅周辺や周辺観光施設等の回遊性強化を目指し、「まち」と「駅側」を連携する歩行空間を検討する
- ・天候に左右されないなど、誰もが移動しやすく、移動負担の少ない歩行空間を検討する

④防災機能の強化

- ・災害等により公共交通に支障が発生した場合の一時的な避難場所や帰宅困難者の受入空間を検討する
- ・災害時の情報収集・発信等の機能を備える拠点を検討する

⑤官民連携による計画の具体化

- ・民間事業者等の知見を広く取り入れながら、官民連携による効率的・効果的な施設運営を検討する

